

林業事業体等(造林・素材生産)との意見交換会(広島署開催)の開催結果について

近畿中国森林管理局では、林業事業体等(造林・素材生産)との意見交換会(中国ブロック)を10月23日に広島森林管理署会議室において開催しましたので、その概要をお知らせします。

当日は17社、21名が参加され、近中局における重点取組や造林・生産事業の優良事例、総合評価落札方式等について説明の後、参加者から造林・素材生産事業に係る発注等に関しご意見、ご質問をいただき活発な意見交換会となりました。

記

1 近畿中国森林管理局からの情報提供

- ①重点取組、平成26年度概算要求等 ②発注者綱紀保持 ③請負事業に係る労働安全
- ④造林事業及び素材生産事業の優良事例紹介 ⑤技術提案書の作成上の留意点

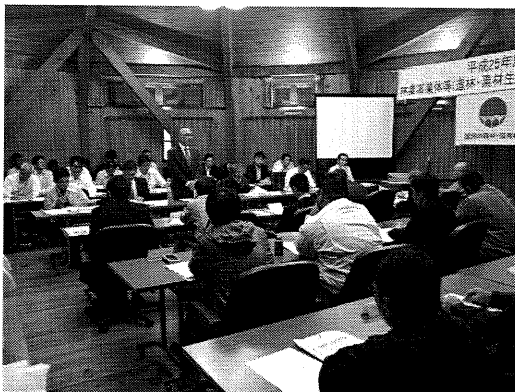
2 事業体の皆様から頂いた主な意見等

(1)事業発注に関する意見

- 各事業の発注見通しの公表、入札公告について、早い時期に実施してもらいたい。
- 現在実施されている民間競争入札(複数年契約)の、今後の発注見通しはどうか。
- 入札参加を促す方策として、1事業体が年間2件受注できる程度の事業規模の設定を検討してほしい。

(2)事業実施に関する意見

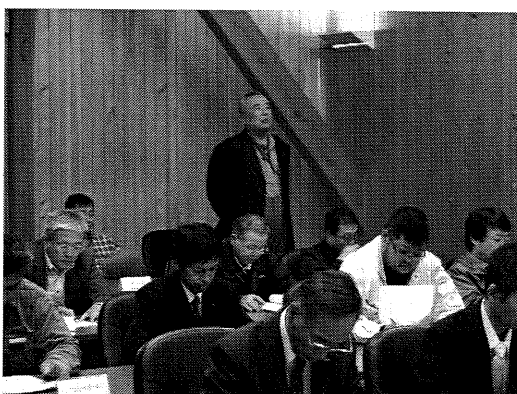
- 木質バイオマスの需要が拡大する中、今後の国有林における林地残材の取り扱いについての展望はどうか。
- 受注箇所の予定生産量を確実に見込むため、収穫調査について精度の高い手法を採用してほしい。
- 森林の齢級配置の是正のため、主伐の必要性が注目されているが、今後、国有林における主伐は検討されているのか。



【意見交換会の開催】



【優良事例の紹介】



【参加者からの発言】

お問い合わせ先

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-75
近畿中国森林管理局 森林整備部
森林整備課長補佐 中村彰男
TEL:06-6881-3512

資源活用課長補佐 藤本靖明
TEL:06-6881-3503